

# エターナス FUJITSU Storage ETERNUS DX200 S4 ハイブリッドストレージシステム



多様なビジネス要件に応える柔軟性と、データ保護を実現する抜群の信頼性を提供

## 最大限の選択肢を提供し、幅広い業務用途をカバー

### 第四世代となるハイブリッドストレージ

ETERNUS DX200 S4は、SSD/HDDを最大264本・物理容量として最大8,110TBを格納することが可能な中小規模向けハイブリッドストレージです。導入コストを抑えたエントリークラスの位置づけながら、従来機種比4倍のメモリ搭載・高性能CPUおよび高速インターフェース採用などにより、大幅な基礎体力の強化が図られております。

### あらゆる用途をカバーする柔軟性

本機種は超高速SSDはもとより、従来型の各種HDDの搭載まで幅広くサポートしたハイブリッドシステムとすることで、お客様の業務特性やコスト要件に応じて性能・容量・価格を高度にバランスさせた基盤を構築できます。従来の業務システムの維持・高度化から新しいデジタル技術を活用したビジネスまで、あらゆるニーズに対応します。

高速・高信頼性が求められる基幹系データベースはもちろのこと、多数のサーバ/クライアントを集約する仮想化システムにおいても優れた親和性を発揮します。SAN接続以外にも、本機種単体でのファイルサーバ機能やOpenStack Cinder接続まで、あらゆる用途をカバーします。

また、容量あたりのコストが低い大容量ニアラインディスクにも対応していますので、バックアップやアーカイブといった待機系のストレージとしても積極的に活用できます。

## 「ハイブリッド」が可能にするストレージ・リソース活用の最適化

### SSD/HDD併用による性能アップ

コントローラ内蔵のDRAMに加えてSSDをキャッシュとして利用することにより、低いコストでアクセス性能の向上を実現します。アクセスの偏在性が高い業務には特に効果的であり、はるかに少ないドライブ数で要求性能を満たすことができます。

### 業務単位での性能担保と自動調整

優先的に処理を行いたいサーバの性能を確保するため、QoS (Quality of Service) 機能をサポート。管理ソフトウェアから各ボリュームに目標レスポンスを設定しておくことで、自動的にボリューム間でリソースを融通します。負荷変動の大きい業務においても、システム管理者の手動調整を省くことで工数を大幅に削減します。

### ストレージ自動階層制御

異種ドライブ混在環境で、データのアクセス頻度に応じてドライブ間でデータ再配置を行います。アクセス頻度の高いデータを高性能なSSDに配置したり、利用頻度が低いデータを安価なニアラインディスクへ配置することで、コストに見合った最適な性能を得ることができます。

### 空き領域の集約と利用効率向上

物理搭載ディスク以上の容量をサーバへ仮想的に割り当て、ディスクをプール管理するシン・プロビジョニングにより空き領域をサーバ間で共有化します。導入するディスク数を抑制し、その使用効率を向上させることで投資の最適化を実現します。

### データ量の削減

ストレージ内のデータをリアルタイムで削減するインライン方式の重複排除・圧縮機能を搭載し、ディスクの使用容量を最大75%\*削減します。本機能はボリュームごとに設定できますので、高速性最優先の業務は無効に、データ重複の多い業務は有効にするといった使い分けも可能。QoS機能との併用等により、業務特性に応じたリソース配分が自由自在です。

\*ユーザーデータの特性により削減率が異なります。

## エンタープライズ・ストレージとしての機能を実装

### 6方式もの多彩なデータ保護

筐体内部ではフルボリュームの高速コピー機能をはじめ、更新データの差分コピーやスナップショットなど4方式をサポートします。

また、筐体破損など重篤な障害への備えとしては筐体間でのコピー2方式を実装。災害時においても業務を停止することなく他筐体で運用を継続する“Storage Cluster”機能も実装しており、要件に応じたデータ保護の最適化を図ることができます。

### 標準の3年保証と最長10年の保守

ETERNUS DX200 S4の構成品はSSD/HDDを問わずすべて3年間の標準保証期間を設けており、さらには業界最長クラスの10年間長期保守を提供するモデルもご用意しております。ハードウェアへの投資を保護するとともに、機器更新に伴う移行工数の抑制にも寄与します。

### 運用・管理を容易に

複数台におよぶストレージ環境を統合的に一元管理する“ETERNUS SF Storage Cruiser”をはじめ、複雑化しがちなシステム運用の核となるソフトウェアをご用意しております。設計構築段階から運用に至るまでをウィザードでの設定やダッシュボード形式の監視といった直感的なGUIとして提供し、さらにはリソース管理の制御を自動化することで、運用管理コストの削減に貢献します。



ETERNUS DX200 S4の装置仕様

CPU	インテル® Xeon® プロセッサ		
サポートRAID	0, 1, 1+0, 5, 5+0, 6		
最大物理容量 <sup>※1</sup>	8,110TB		
コントローラー数	2		
ホストインターフェース [最大転送速度]	FC[32Gbit/s, 16Gbit/s, 8Gbit/s], iSCSI[10Gbit/s(10GBASE-SR/CR, 10GBASE-T), 1Gbit/s(1000BASE-T)], SAS[12Gbit/s], Ethernet[10Gbit/s, 1Gbit/s]		
ホストインターフェース数	4, 8[FC, iSCSI, SAS, Ethernet(10Gbit/s)], 8, 16[Ethernet(1Gbit/s)]		
最大接続サーバ数	1,024		
システムメモリ容量	64GB <sup>※2</sup>		
ドライブ数	2~264 <sup>※3</sup>		
最大DE数 <sup>※4</sup>	2.5" DE	10	
	3.5" DE	10	
	高密度DE	4	
サポートドライブ <sup>※4</sup> [回転数]	2.5" SASディスクドライブ	暗号化非対応 2.4TB <sup>※5</sup> , 1.8TB <sup>※5</sup> , 1.2TB, 900GB, 600GB, 300GB[10,000rpm], 900GB, 600GB, 300GB[15,000rpm]	
	2.5" ニアラインSASディスクドライブ	暗号化対応 2.4TB <sup>※5</sup> , 1.2TB[10,000rpm]	
	2.5" SSD	暗号化非対応 2TB <sup>※5</sup> , 1TB[7,200rpm]	
	3.5" ニアライン	暗号化対応 30.72TB, 15.36TB, 7.68TB, 3.84TB, 1.92TB, 960GB, 400GB	
	SASディスクドライブ	暗号化非対応 7.68TB, 3.84TB, 1.92TB, 400GB	
		暗号化対応 14TB <sup>※5</sup> , 12TB <sup>※5</sup> , 10TB <sup>※5</sup> , 8TB <sup>※5</sup> , 6TB <sup>※5</sup> , 4TB, 2TB[7,200rpm]	
ドライブインターフェース[最大転送速度]	2.5" SAS	暗号化非対応 12TB <sup>※5</sup> , 6TB <sup>※5</sup> , 4TB[7,200rpm]	
	3.5" SAS	暗号化非対応 3.84TB, 1.92TB, 960GB, 400GB	
	暗号化対応 3.84TB, 1.92TB, 400GB		
外形寸法 [ピッチ数]	2.5" CE	SAS[12Gbit/s]	
	2.5" DE	W482xD645xH88mm[2U]	
	3.5" CE	W482xD540xH88mm[2U]	
	3.5" DE	W482xD670xH88mm[2U]	
	3.5" 高密度DE	W482xD560xH88mm[2U]	
最大質量(エンクロージャー1台当たり)	35kg		
最大質量(3.5" 高密度DE 1台当たり)	100kg		
電源条件	電圧	AC100V~120V, AC200V~240V	
	相数	単相	
	周波数	50Hz, 60Hz	
最大消費電力 [最大皮相電力]	AC100~120V	2.5" CE	850W[860VA]
		2.5" DE	430W[440VA]
		3.5" CE	780W[790VA]
		3.5" DE	340W[350VA]
		3.5" 高密度DE	1,300W[1,320VA]
		最大構成時	6,720W[6,850VA]
	AC200~240V	2.5" CE	850W[860VA]
		2.5" DE	430W[440VA]
		3.5" CE	780W[790VA]
		3.5" DE	340W[350VA]
		3.5" 高密度DE	1,300W[1,320VA]
		最大構成時	6,720W[6,850VA]
最大発熱量(100V)	24,800[kJ/h]		
最大発熱量(200V)	24,800[kJ/h]		
周囲環境条件(動作時)	温度	10~40C	
	湿度	20~80%RH	
省エネ法に基づく表示 (2011年度基準)	区分名	N	
	エネルギー消費効率[達成率] <sup>※7</sup>	2.5" CE使用時 0.0041[AAA] 3.5" CE使用時 0.0092[AAA]	

用語表記 2.5":2.5インチ, 3.5":3.5インチ, CE:コントローラーエンクロージャ(ベース装置), DE:ドライブエンクロージャ

- \*1:本容量は、1TB=1,000GB, 1GB=1,000MBとして計算した物理容量
- \*2:本機に搭載可能なメモリの総量
- \*3:単一サイズのドライブを最大数搭載した場合の数値
- \*4:ドライブエンクロージャは混在搭載が可能
- \*5:アライメントフォーマット
- \*6:SSD(1.92TB, 3.84TB, 10Krpm HDD(1.2TB), 7.2Krpm ニアラインHDD(2TB, 4TB, 6TB, 8TB, 10TB, 12TB, 14TB, 自己暗号化4TB, 8TB, 12TB)の13種類については、3.5inch 高密度DEに搭載可能です。
- \*7:エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定された消費電力を、省エネ法で定める記憶容量で除したものです。本装置のエネルギー消費効率は、容量と回転数が同一のディスクドライブを最大数搭載した場合の値です。基準達成率の表示値は、Aは100%以上200%未満、AAは200%以上500%未満、AAAは500%以上を示します。

サポートサーバOS\*

メーカー名	機種	OS <sup>※</sup>
富士通	基幹IAサーバ FUJITSU Server PRIMEQUEST PCサーバ FUJITSU Server PRIMERGY	Windows Server 2019, Windows Server 2016, Windows Server 2012 R2, Windows Server 2012, Windows Server 2008 R2, Red Hat Enterprise Linux 7, Red Hat Enterprise Linux 6, Red Hat Enterprise Linux 5, SUSE Linux Enterprise Server 15, SUSE Linux Enterprise Server 12, SUSE Linux Enterprise Server 11, Oracle Linux 7, Oracle Linux 6, Oracle Linux 5, VMware® vSphere 6.7, VMware vSphere 6.5, VMware® vSphere 6.0, VMware® vSphere 5.5, VMware® vSphere 5.0, XenServer 7, XenServer 6, Oracle VM 3
	UNIXサーバ SPARC M10/SPARC Enterprise	Solaris 11 Operating System, Solaris 10 Operating System
Oracle	SPARC Servers	Solaris 11 Operating System, Solaris 10 Operating System
HPE	HPE Integrityサーバ	HP-UX 11iv3, HP-UX 11iv2
	HPE 9000サーバ	HP-UX 11iv3, HP-UX 11iv2
IBM	Power Systems, System p, pSeries	AIX 7.2, AIX 7.1
その他	各社PCサーバ	Windows Server 2019, Windows Server 2016, Windows Server 2012 R2, Windows Server 2012, Windows Server 2008 R2, Red Hat Enterprise Linux 7, Red Hat Enterprise Linux 6, Red Hat Enterprise Linux 5, SUSE Linux Enterprise Server 15, SUSE Linux Enterprise Server 12, SUSE Linux Enterprise Server 11, x86 Solaris 11 Operating System, x86 Solaris 10 Operating System, VMware® vSphere 6.7, VMware® vSphere 6.5, VMware® vSphere 6.0, VMware® vSphere 5.5, VMware® vSphere 5.0, XenServer 7, XenServer 6, Oracle Linux 7, Oracle Linux 6, Oracle Linux 5, Oracle VM 3

\*サポートサーバ/OSの詳細につきましては、弊社担当営業、または販売パートナーまでお問い合わせください。



**グリーン製品**  
グローバルな環境対策に則った当社独自の厳しい環境評価基準をクリア。

**グリーン購入法への対応**  
本製品は、国などによる環境物品などの調達の際の推進などに関する「グリーン購入法」に基づく調達の基本方針(判断の基準)に対応しています。

**製品保証**  
ETERNUS DX200 S4の本体/オプションについて、  
3年間翌営業日以降訪問修理を受けられます。  
※平日:月曜日~金曜日(祝日、12月30日~1月3日を除く)



クラス1レーザ製品

- Intel, インテル, Intel ロゴ, Intel Inside, Intel Inside ロゴ, Xeon, Xeon Insideは、アメリカ合衆国および/またはその他の国における Intel Corporationの商標です。
- Windows, Windows Serverは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。 ●Linuxは、Linus Torvalds氏の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Red Hat, RPMおよびRed Hatをベースとした全ての商標とロゴは、Red Hat Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。 ●SUSEは米国およびその他の国におけるNovell Inc.の商標です。
- OracleとJavaは、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国、およびその他の国における登録商標です。Oracle Solarisは、Solaris Operating Systemと記載する場合があります。
- VMwareは、VMware, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- お客様システムの安定稼働やセキュリティ確保のために、最新版ファームウェアの適用を推奨しています。最新版は以下サイトに公開しています。なお、ファームウェアの入手・適用は、お客様自身で実施願います。弊社に作業をご依頼される場合は、有償にて承りますので、弊社担当営業、または販売パートナーまでお問い合わせください。 http://storage-system.fujitsu.com/jp/download/index.html#firmware
- 記載の会社名、製品名、名称等の固有名称は各社の商標または登録商標です。 ●その他、本カタログに記載されている名称には必ずしも商標表示をしておりません。
- このカタログに記載されている製品については、改良のために予告なしに仕様、デザイン等を変更する場合がありますのでご了承ください。 ●このカタログは、再生紙を使用しています。

運用・保守サービス[SupportDesk]の詳細は、富士通ホームページ「製品サポート」をご覧ください。 <https://www.fujitsu.com/jp/supportdesk/>

製品・サービスについてのお問い合わせは

富士通コンタクトライン(総合窓口)

0120-933-200

受付時間 9:00~17:30(土・日・祝日・当社指定の休業日を除く)

富士通株式会社 〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター

<http://www.fujitsu.com/jp/eternus/>